澤田（さわだ）　裕之（ひろゆき）　議員
（創政クラブ）

葛生文化センターについて

Q 公共施設の在り方を検討する際には、行政側の視点だけではなく、実際に施設を利用している方や地域で暮らす方々の声を反映することも大切である。葛生文化センターの今後の整備方針を決定する過程で、地域住民や利用者の意見を取り入れる考えについて伺いたい。

A **教育部長**

葛生文化センターは、地域の皆様が日常的にご利用いただいている大切な施設であり、整備の方針を決める際には、実際にお使いいただいている市民の皆様や地域の団体のご意見をしっかりと伺うことが重要であると考えています。

いただいたご意見を真摯に受け止め、十分に検討した上で、地域に根差した施設となるよう丁寧なプロセスを踏みながら方針の決定に取り組んでいきます。

その他の質問

☆太陽光発電設備について
☆本市における学校給食について

久保（くぼ）　貴洋（たかひろ）　議員
（創政クラブ）

佐野市のネーミングライツについて

Q 令和9年度にリニューアルオープン予定の佐野市文化会館のネーミングライツ導入について見解を伺いたい。

A **市長**

佐野市文化会館については、ネーミングライツ制度の導入対象施設として考えています。制度の導入に際しては、佐野市ネーミングライツ導入に関する基本方針等に基づき、進めることとなっており、ネーミングライツ料の金額については、施設の利用実績や他自治体の類似事例等を参考に、当該施設の広告媒体としての価値を総合的に検討することとしています。

令和6年4月から、リニューアル工事により休館となっており、現段階では適切なネーミングライツ料設定のための利用実績が把握できない状況であるため、リニューアルオープン後、利用実績を的確に把握し、可能な限り早期にネーミングライツ制度の導入を進めていきます。

その他の質問

☆佐野どまんなか花火大会について
☆令和8年7月17日集中豪雨について

※ネーミングライツとは…
企業が公共施設やスタジアムなどに自社の社名やブランド名をつける権利を買い、その対価としてお金を払う仕組みのことです。

小森（こもり）　隆一（りゅういち）　議員
（公明党議員会）

佐野市気候変動適応計画及びゼロカーボンシティさの実現に向けたロードマップについて

Q ゼロカーボンシティさの実現に向けた市民関係団体、事業者の取り組み強化について伺いたい。

A **農林環境部長**

カーボンニュートラルの実現に向け、市の関係部署や地域の関係機関だけでなく、市民や市内事業者等が主体性を持ち、認識の共有や連携、協働を図りながら、それぞれの役割を積極的に果たしていくことが重要であると考えています。

本市では、市民、関係団体、事業者の取り組み強化を図るための連携組織として、本年2月にゼロカーボンシティさの共創プラットフォームを設立し、推進体制の整備を進めています。

今後は、このプラットフォームの活動を通じ、市内事業所等のニーズを把握するとともに、各種セミナーや交流会等を開催しながら、それぞれの分野における推進体制の整備や連携体制の構築に向けた取り組みを進めていきます。

その他の質問

☆市長に対する告発について
☆小中一貫校整備について